

京極読書新聞 <第5号>

発行日 平成21年 8月 1日(土)
京極町生涯学習センター湧学館

特集 フックトーク

あるテーマに沿って、何冊かの本をトークで繋ぎながら紹介します。



「図書館の中へ、本の中へ」

湧学館 司書 新谷保人 (あらや・やすひと)

▼ みなさん、こんにちは。今日は、お話の中に「図書館」が出てくる本を持ってきました。

▼ まず、1冊め。赤木かん子さんの書いた「**図書館って、どんなところなの？**」。

小学校の帰り道、子どもたちが道路に落ちていた「かいけつゾロリ」を発見します。町の中央図書館のシールが貼ってあったので、みんなで返しに行くことになりました。

▼ 図書館の人は本が見つかったことをとても喜んで、お礼に、図書館長さんが図書館の中を案内してくれる…というのがこの絵本です。さて、図書館の中はどんなところなのかな？

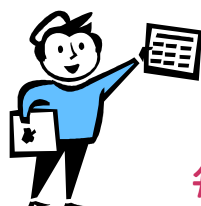
▼ でも、図書館に来るのが、子どもたちじゃなくて、ライオンだったらどうだろう？というのが、この絵本

としょかん
ライオン

「**としょかんライオン**」です。(本を拵げて)おお！本当に図書館の中をライオンが堂々と歩いていますね。でも、子どもたちは、そんなに怖がってはいないみたい。なんか、楽しそうですね。

▼ 図書館は図書館でも、おばけたちの図書館に行った子もいます。それが、この「**おばけとしょかん**」。女の子のポーは、夜、寝る前に本を読んでいた。足がくさい魔女のお話です。お話が、イチゴのかおりがする靴下という、いちばん面白いところに来たとき…

▼ とつぜん電気が消えて部屋は真っ暗になってしまいました。



京極読書新聞は
毎月1日発行です。

図書館って、
どんなところ
なの？

おばけ
としょかん

誰かがポーの本をひっぱっています。こんな面白い本、取られてなるものかとポーは本を握りしめました。すると、本といっしょにポーも引っぱられてしまったのです。どこへ？

▼ それが(ページの仕掛けを拵げて)ここです。「おばけとしょかん」！いったい「おばけとしょかん」って、どんな図書館なんでしょうね。知りたい人は、ポーといっしょに中へ入ってみてください。

▼ 図書館の中じゃなくて、図書の中、本の中に入ってしまった女の子もいます。それが、この「**本の妖精リボン**」。リボンは(表紙の絵をさして)これです。うしろでリボンをのぞいている女の子が、転校生のアミ。アミは、妖精のリボンが見えるのですね。

本の妖精
リボン

▼ 学校の図書室に住みついているリボンを助けてあげたことがきっかけで、アミは、本の中、お話の中にリボンといっしょに入りこみます。さて、いったい、何のお話の中に入ってしまったかは、自分で読んでたしかめてね。読めば、たぶん、みんな、どこかで一度は聞いたことがあるという有名なお話です。

▼ でも、本を読むって、もともとが、お話の中に自分が入って行くことなのかもしれませんね。お話の中に入りこむということでは、エンデの「**はてしない物語**」(映画「ネバー・エンディング・ストーリー」の原作です)が有名ですが、本の世界はとてつもなく広いよ。他にも「本の中に入りこむ」お話はいっぱいあります。持ってきた本、夏休みにバリバリ読んでみてくださいね。

(7月16日、南京小で行った出前図書館のブックトークを文章化したものです)

「中学生にこの一冊！」はお休みします。
夏休み明けに再開します。



特集 ブックトーク

「こわい本、おばけの本」

湧学館 佐々木 和恵 (ささき・かずえ)

▼ みなさん、こんにちわ。今日はこわい本とおばけが登場する本をもって来ました。

▼ まず、『おばけ』ってなんでしょう？幽霊は？妖怪は？妖精は？これ、ぜ～んぶまとめて『おばけ』っていうんだって。

▼ 最初の本は、「おばけドライブ」。

おばけ
ドライブ

おばけ宝くじを買いました。すると、なんと当たったのは1等賞のスポーツカー！！ヘイザくん、早速ガールフレンドのカアコさんとドライブにでかけますが、出会うのは気持ち悪いおばけばかり！さてどうなるのでしょうか？

▼ 次は日本の昔話「蜘蛛の糸」です。これは、ちょっとこわいお話。この本で、人は死んじゃったら、この世の中で良いことをした人は極楽に、悪いことばかりしてた人は地獄に落ちる、ということになっていて、お釈迦様が極楽からその様子を見ています。お釈迦様はカンダタというドロボウに、一度だけ地獄から抜け出せるチャンスをおげようと思ひ、極楽からほそ～い蜘蛛の糸をカンダタの所に下ろしてやります。その糸を見つけたカンダタは・・・カンダタは地獄を抜け出すことができるのでしょうか？

蜘蛛の糸

▼ 次は本当にこわい本。みんな都市伝説って知ってる？

▼ 都市伝説っていうのは、わりと新しい話なんだけど、人から人に伝わっている言い伝えのことで、こわい話が沢山あります。コンビニに置いてあった傘を勝手に持ってきたら、交差点に引き込まれて車にはねられた、とか、水の中から手が出てきて引き込ま

れる池とか、そういう大人が読んでもこわ～い本なので、こわがりな人は見ない方がいいかも・・・？

▼ 次は本がおばけで、読んだ人が本の中にひきこまれて、お話の主人公になっちゃうという「ひみつのおばけえほん」。ルイクンとおばけのモモちゃんは本の中に入り込み、おとぎ話の登場人物になることになりました。どうやって本の中から帰ってくるのでしょうか？

おばけの
なつまつり

▼ 他にも、夏休みの宿題に、おばけを集めようとする兄妹のお話、「おばけをとりこいこうよ」や、おばけの兄妹と仲良くなって、おばけと一緒にお祭りをやっちゃう女の子のお話、「おばけのなつまつり」、ひとりのお留守番が寂しくて、鏡の中の自分を呼び出しちゃうお話、「るすばんおばけ」もあるから、読んでくださいな。

▼ 「おばけは本当にいるの？」は、おばけの正体をさぐったり、どうして見たこともないのに、おばけをこわがるのかを調べた本で、科学的でとってもおもしろいよ。

▼ 最後に、みんなも知ってる「となりのトロ」。

となりのトロ

トロも森に住んでるおばけで、サツキとメイの家には、マックロクロスケというおばけもいましたよね。トロは森のおばけとか、妖精とか言われているけど、サツキもメイもとっても仲良し。

▼ 人間もそうだけど、おばけも、こわくて悪いおばけばかりじゃないのかもしれないですね。

(7月16日、南京小で行った出前図書館のブックトークを文章化したものです)

発行

京極町生涯学習センター湧学館
〒044-0101 京極町字京極158番地1
TEL 0136-42-2700(代表)
FAX 0136-42-2032
E-Mail yugakukan@town-kyogoku.jp



ホームページもご覧ください
<http://lib-kyogoku.cubet.com/>

